市報 にいがた

発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 髙橋甲子
（担当市民企画部広報課）
印刷所 ㈱旭光社

市の人口

		前月比
人口	430,231	(＋912)
男	210,531	(＋520)
女	219,700	(＋392)
世帯数	134,656	(＋535)

52年5月末日現在

生きがいは自分の手で…

～市長と老人クラブ代表との懇談会～

七月一日、午後一時半から約二時間にわたって東総合庁舎で、市長と老人クラブ代表（東新潟）との懇談会が開かれました。（西新潟とは十一日に開催）

これは老人クラブの方からかねて要請があり、それに応えて行われたものです。

会に先だって、市長は「昨年、地域別等懇談会で私の考えや制度の内容、市政の現状を話した。今、シビルミニマム（生活環境基準）を作り、現状の数量化を行っている。これができれば、市民も水準と行計画のギャップがわかり、水準に到達するまでの時間、お金がわかる。それによって市政がわかり、さらには参加することができると思う」と述べ、さらに「老人福祉に関して若干ー」と前置きしたあと「老人の中にも元気な人と寝たきりの人がいる。寝たきりの人には医療的な面での施策が必要。健康な人には特にこの二～三年、"生きがい施策"を中心に考えねばと思う。生きがいは自分自身が求めるもので、行政はあくまでもその一助。市は若干の機会と設備を用意するだけで、あとは本人の意欲が大切だと思う」と述べました。

元気なお年寄り（昨年の運動会）

いきがい対策を社会教育の一環として

会は老人クラブ連合会長**野口市弥**さんの司会で行われ「老人健康診査を豊栄など隣接する市町村でも受けられるように」「特別養護老人ホームを」「老人クラブの補助金の用途が限られているヒモ付きか?」「道路のグリーンベルトの植木の名札付けなど老人でも手軽にできると思うが」「生きがい対策の楽焼きをやっているが、器具と場所の充実を」ーなどの声がありました。

これに対して市長は「老人健康診査は今年、さらに一歳引きさげ六十三歳以上の人に実施し、今までなかった聴力検査の項目も独自に設けた。今、亀田町（三軒）、黒埼町（一軒）は可能、豊栄にはまだない。交渉して決まりしだい市報等で知らせる」「今年の秋ごろから養護老人ホーム松鶴荘を鉄筋に作りかえる。特別養護老人ホームについても来年か、さ来年あたりにと考えている所だ」と述べました。

補助金については「補助金の説明会は昨年から市内八か所で行っている。補助金は老人クラブ活動としてある程度の人数が集まったものに使ってほしいということではいっているが、しなければ補助金をけずるということではない」という老人福祉課長の説明のあと、さらに市長は「補助金は国、県からも金がでているのである程度の条件がつく。クラブの自主性で行えるような道を工夫してみよう」とつけ加えました。

「ベルト地帯の植木の名札付けは非常にいい話しだと思う。国・県・市道と管理者が違うが、国道事務所等と話しあって検当しよう」「楽焼き等は希望者多いと思う。絵を習いたいという人もいる。老人福祉だけでなく公民館、社会教育活動の一環として、幅広く考えていきたいと思う」ーと結んでいました。

補正額は四億七千万円

六月定例市議会終わる

さる六月二十二日に招集された、六月定例市議会は追加提案された議案も含め四十二議案をすべて可決、または同意して会期十三日間の幕を閉じました。

今回、特に重点がおかれたのは、私道整備、小溝排水路改良整備の助成金で、地域住民の要望にこたえて助成金を大幅に増額しました。私道整備事業助成金は三千二百万円に、小溝排水路改良整備助成金は、当初の七百五十万円から五千六百万円にしました。

このほか、一般会計では西海岸公園、じゅんさい池公園、児童公園などの公園整備事業に一億五千六百万円、石山地区公民館建設事業に五千三百万円、ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の整備に二千五百万円をそれぞれ追加し、一般会計補正予算額は、約四億七千四百万円となりました。

住宅の新築や小中学校の新設も

また、可決された契約議案は、マンモス校を解消するため第三木戸小、第三新通小、第二鳥屋野中（仮称）の新設工事や長嶺小校舎改築工事、松浜小、松浜中防音改築工事、石山中校舎増築工事、中部下水処理場雨水放流きょ築造工事、水処理施設築造工事、鳥屋野排水区鳥屋野幹線下水道築造工事新石山団地公営住宅第一種中層耐火四階建新築工事（三件）、中山地区改良住宅中層耐火五階建新築工事の十四件です。

また、教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員も決まりました。（敬称略）

教育委員会委員

高橋英雄（六十歳　市内寺尾　医療法人新成医会文京病院副院長）**遠藤整治**（四十五歳　市内二葉町　遠藤鋼機株式会社社長）

固定資産評価委員会委員

山本錬太郎（五十七歳　市内鏡が岡　今代司酒造株式会社社長）

そのほか、採択された請願・陳情は次のとおりです。

請願▼私立幼稚園の父母負担軽減についてのうち第二項県当局と協力して私立の保育料値上げを抑制すること、第三項入園金、寄附金の先取りを廃止するよう行政指導すること、第四項子どもたちがゆきとどいた教育を受けられるよう、施設、設備改善のため、助成すること▼新潟市立小瀬小学校校舎改築について

陳情▼鳥屋野潟の整備促進について▼精神薄弱児の養護学校設置について▼浜谷町地内の排水溝整備及び道路舗装について

〈婦人懇談会日程表〉

月日	時間	会場	中学校区
7/18（月）	午後一時半～三時半	大江山連絡所	大江山
7/19（火）	午後一時半～三時半	第四銀行小針支店	小針（五十嵐）
7/20（水）	午後一時半～三時半	坂井輪農協会議室	坂井輪（五十嵐）
7/21（木）	午後一時半～三時半	鳥屋野農協会議室	鳥屋野（東新）
7/22（金）	午後一時半～三時半	中央公民館五階ホール	白新関屋
7/23（土）	午前十時～正午	中央公民館五階ホール	寄居二葉舟栄
7/25（月）	午後一時半～三時半	東地区事務所	宮浦（東新）
7/26（火）	午後一時半～三時半	木戸小学校	木戸（東新）

※中学校区の（　）は一部を含むお近くの方おでかけください

あなたもボランティア

ボランティアの輪を広げよう

江南高校JRC

私たちは江南高校青少年赤十字の団員としてボランティア活動に参加しています。この部は運動部のような華やかさはありませんが、一人ひとりの小さなボランティア精神が集まり、大きな力となっています。

校内ではネパールの結核撲滅のために古切手を収集しています。これは校内の生徒はもちろん、卒業生や一般の方々からも多くの協力を頂いています。

つぎに鳥屋野潟周辺の清掃です。これは新入生歓迎活動として五月に行いますが、数時間でリヤカー一台が空カン、紙くずで山となり、喜んでいいのやら複雑な気持です。

また老人ホームを年に数回訪問します。ここではお年寄りとお話しをします。私達の手作りのプレゼントや話し相手をとても喜んでもらっています。なお、この老人ホームで使用するおむつの一部を数年続けて縫わせてもらっていますが、これが難関です。

初めはみんなで張切っていますが、なにしろ"二百反"という私たちにとっては膨大な量なのです。しかし、出来あがったおむつの山をみてやった!!という感激はひとしおです。

さて、昨年は初めて新潟学園を毎週日曜日に訪問しました。最初は打ち解けてくれなかった子どもたちもいつしか「今度いつくるの。今日は楽しかったな」といってくれるようになりました。こんな時、この活動の喜びを強く感じます。

私達は奉仕の輪がもっともっと広がることを願っています。

「身障者でない者には身障者の気持は分からないさ!」

それを聞いた、もう一人の身障をもつ人。

「そういっているうちは、こころの障害者なのさ!」

（身障友の会発行「ともに生きるー身障に正しい理解をー」）から。

善意の寄付

福祉のために

▼白山神社（一番堀）▼藤石洋子（大友）▼北畠桂子（小針）▼三愛観光開発（春日町）▼小須戸ライオンズクラブ（中蒲原郡）▼三川きい（東大畑通）▼㈱千野製作所（東大通）

交通遺児のために

▼小田豊（岩船郡朝日村）▼橋本良恵（紫竹）▼横山志郎（三和町）▼新潟西交通安全協会▼飯塚石油販売所（槙尾）▼匿名一件

「青少年と社会環境」のポスター、標語募集

未成熟な青少年をよりよい社会環境で育成する大切さを啓もうするのにふさわしいポスター、標語を募集します。ふるってご応募ください。

〈ポスター〉

● **内容**・自由。● **大きさ**　四つ切り画用紙。

● **色**　3色以内。一人何点でもよい。裏に住所、氏名、年齢、電話番号を明記。

〈標　語〉

● **内容**　自由。官製はがき1枚1点。一人何点でもよい。住所、氏名、年齢、電話番号を明記。

応募方法　9月3日までに、中央公民館内新潟市青少年補導センター（〒951　西堀通り6）へ

聴覚障害者教養講座

聴覚障害者だけでなく、ボランティアなど一般市民の方々もどうぞ。

日時　7月24日　午後1時～4時

会場　中央公民館5階ホール

テーマ　「近代における聴覚障害者運動と福祉に対する理念」「アメリカにおける聴覚障害者教育」

講師　全日本ろうあ連盟理事　河合洋祐氏

夏休みの小・中学生のための 新潟町と川村奉行 関屋分水河口の植物 展

期間　7月19日～8月31日（月曜休館）

会場　市郷土資料館

※関分河口の植物展は、関屋中学校生物クラブ研究作品

なかよしプール（市体育館裏）

～利用案内～

日時　7月1日～8月31日午前9時～午後4時半

対象　原則として小学2年生までの幼児、児童。（付添人のあるもの）

料金　幼児1人につき20円、付添人1人につき30円、団体（30人）以上1人につき15円。

団体申し込み　市体育館へ、電話（☎22ー6006）または直接。

福祉問題講演会

日時　7月21日　午後2時～4時

会場　中央公民館5階ホール

テーマ　「暮しと社会福祉」

講師　元日本福祉大学教授　渡辺　史氏

主催　県医療社会事業協会

親子映写会

日時　8月1日　午後1時半～3時

会場　市公会堂

映画　①動画「あれはだれ?」②実写「まいごのテントウムシ」③動画「山ねずみロッキーチャック」

申し込み　7月23日までに、往復はがきで（1枚につき5人まで可）市立総合教育センター（〒951　川端町1）へ

※往信欄には、住所、氏名、電話、人数を明記。返信用のおもてにも申込者の住所、氏名を明記。

入場料　無料

NHK記録映画の会

日時　7月23日　午後1時半～3時半

会場　NHK新潟放送会館

映画　「酒田大火からの報告」「あすへの記録ー炎とビルー」「アジアの民芸　木彫りの伝統」

※入場無料　先着150名